

平成27年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員長	恒石 美登里 先生	(公社)日本歯科医師会 日本歯科総合研究機構・ 主任研究員
------------	-----------	-------------------------------------

評価項目	5段階評価					良い	
	悪い	1	2	3	4		5
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	5	良い

総評 (300字以内)

課題解決型高度医療人材養成プログラムとして2年目が終了し、複数歯学部および医学部口腔外科等の協力のもと、特色が取り入れられるプログラム構築へ準備が進んでいることが確認され、本事業計画は医科歯科連携教育体制の構築の上で意義深いと思われます。歯や口腔の形態の回復教育から脱却し、すべての世代に応じた口腔機構の回復に重点を置いた教育へシフトすることを率先して共有していくことが重要だと思われます。引き続き、座学中心ではなく、地域に貢献できる、地域にあった歯科医療提供体制についてフィールド学習（体験型学習）等を通して、理解・構築できるような教育体制の構築をさらに推進・検討すべきと考えます。

平成27年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	菊谷 武 先生	日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長
-----------	---------	--------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	○5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	○5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	○5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	○5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	○5	良い

総評（300字以内）

各校の特色を生かしながら多岐にわたる項目に取り組み、先進性を感じる。一方で、在宅医療の実践において指導医の選定、依頼など困難が予想される内容にも取り組み、敬意に値する。本分野においては、全歯学部が等しく取り組まなければならない項目であり、実践方法や取り組みから得た成果、課題が広く共有したい。今後、事業実施責任者の岡山大学だけでなく他校においての実践にどう取り組んでいくかが課題と言える。

**平成27年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	熊倉 勇美 先生	医療法人社団 和風会 千里リハビリテーション病院
------------------	-----------------	-----------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

本事業の目的の中でも、「口腔から全身健康に関与でき、急性期、回復期、維持期、在宅介護現場に対応できる歯科医を育てる。さらに高齢者の「食」を基盤とした健康増進、介護予防、虚弱予防を目指した新しい歯学教育・研究を推進する」ということは、ことばにすると簡単なようで、実は大変難しい事柄であると思われます。平成27年度の事業報告等を伺うことで、取り組みの様子が具体的に理解出来ました。しかし、事業費に関して、詳しい使途、内容が記載されている大学と、そうでないところがあるなど、事業費の使途に関して、資料を読むだけでは、評価しにくいという点を指摘しておきたいと思ひます。 以上

平成27年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	葛谷 雅文 先生	名古屋大学地域在宅医療学・老年科学分野 教授・未来社会創造機構教授
-----------	----------	--------------------------------------

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	5	良い

総評（300字以内）

地理的に離れた大学間の連携はなかなか難しいが、本プロジェクトに加わっている大学間では連携をうまく構築されている印象を持つ。ただ、個々の大学間での魅力的なプログラムは必ずしも大学間で共有できていないものもあり、今後プログラムの相互乗り入れなどを検討されたい。

事業の目的に死生学ならびに認知症に対する取り組みが掲げられているが、なお十分であるとは言えず、次年度に期待したい。

**平成27年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	東口 高志 先生	藤田保健衛生大学医学部外科 緩和ケア講座 教授
------------------	-----------------	------------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い

総評（300字以内）

前回に指摘させていただきました医科連携も今回にはかなりご努力されて改善されているように思われます。多職種連携につきましては前回より事業計画にのっとり既に達成されているように拝察いたしておりましたが、今回はさらに充実した展開をなされており、成果は十分に満たされているように思います。また、業績はかなりの量におよんでおり、高く評価できるものと判断いたします。

結果的に、現在あるいは将来のニーズを背負い、素晴らしい人材育成体制が確立されているように感じました。引き続き、医科歯科および多職種での連携や地域連携での教育をお勧めいただくと幸いです。